

○高評価内容

園の目的や存在意義、使命や役割などを明確にした理念が職員・保護者への周知が十分に図られているとの評価だった。

★分析後取り組みが必要な項目

6.7.事業計画の見直しと職員理解・保護者周知

コメント

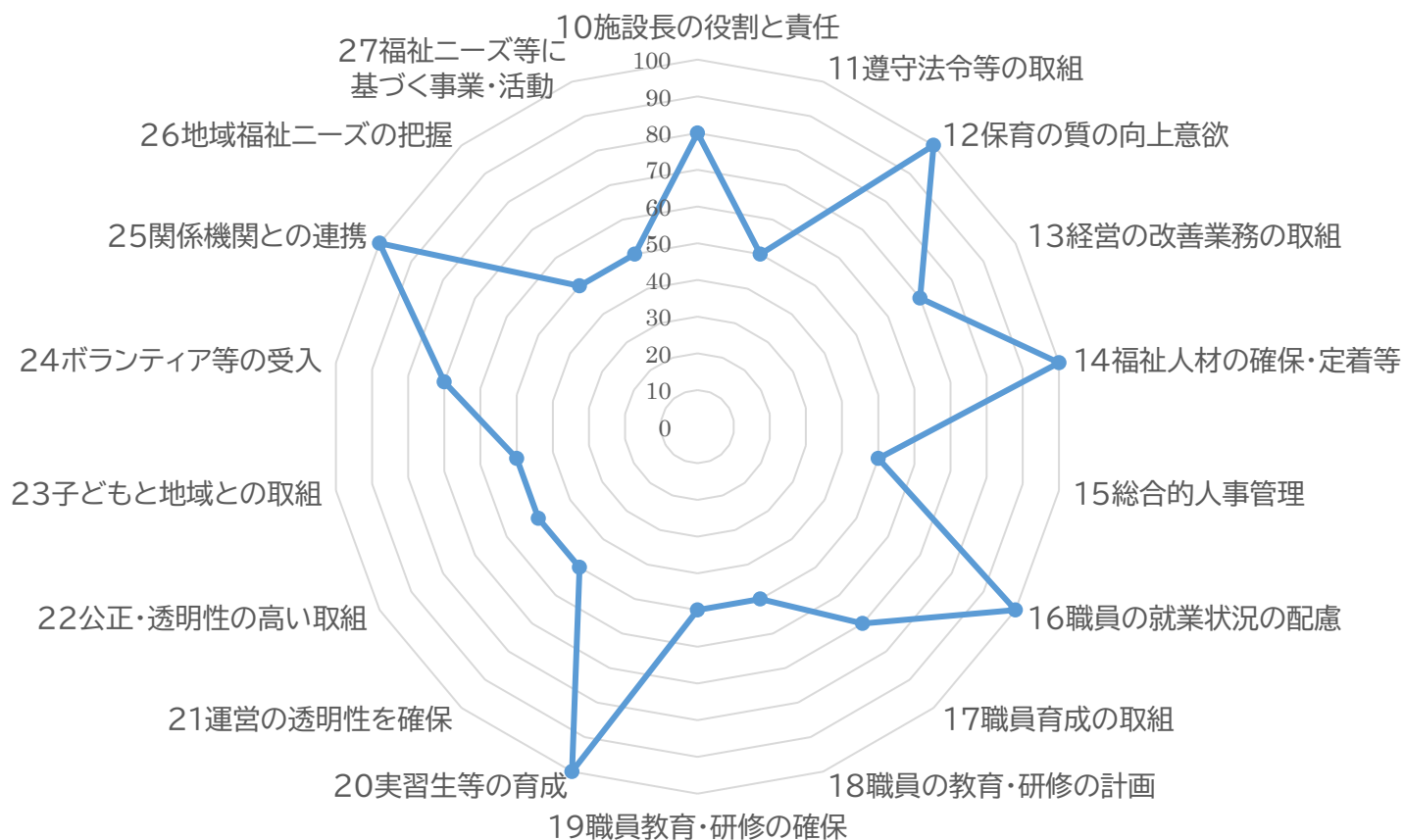
<わかりやすい説明かどうか、周知の方法に配慮しているかどうかなど取り組みの仕方を見直していく。>

8.保育の質の向上への取組

コメント

<基本方針に基づき、子どもと保護者への接し方、教育・保育への具体的な取組が一定に行われているかなど職員自らの業務に対する意識づけを行うことで組織的に行われるようにする。>

Ⅱ 組織の運営管理



○高評価内容

12:PDCA サイクルに基づき、評価結果を分析・検討する場を定期的に持っていることが、保育の質の向上意欲につながっていると思われる。

20:保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルを基本に積極的に実習生を受け入れている。また、中高生の職場体験も全面的に受け入れ、将来的に人材確保につなげられるよう努めている。

★分析後取り組みが必要な項目

10. 施設長の役割と責任 11.法令遵守等の取組

コメント

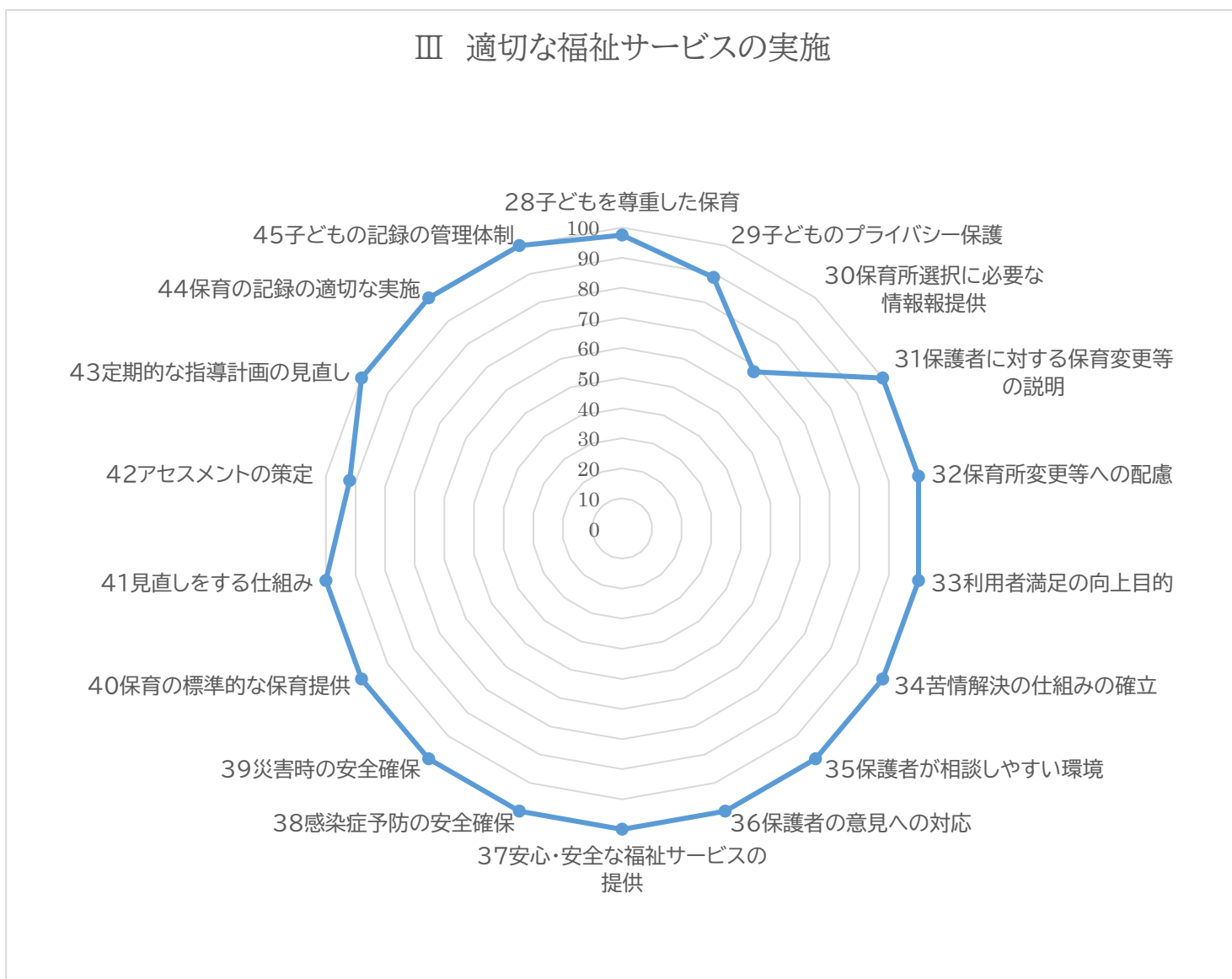
<施設をリードする立場として、職員との信頼関係を築くために遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を明確化する必要がある。>

17.18.19 職員研修について

コメント

<経験年数にあった目標設定・目標期限を明確にし、年度末には目標達成度を確認できる自己チェック表を用いているが、育成・研修にリンクしているということの周知が足りなかった。また、研修を受けられる機会を増やしていく。>

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施



○高評価内容

子どもを尊重した保育の実施についての理念や基本方針をしっかりと理解し、適切な福祉サービスの実施に取り組んでいるという評価だった。

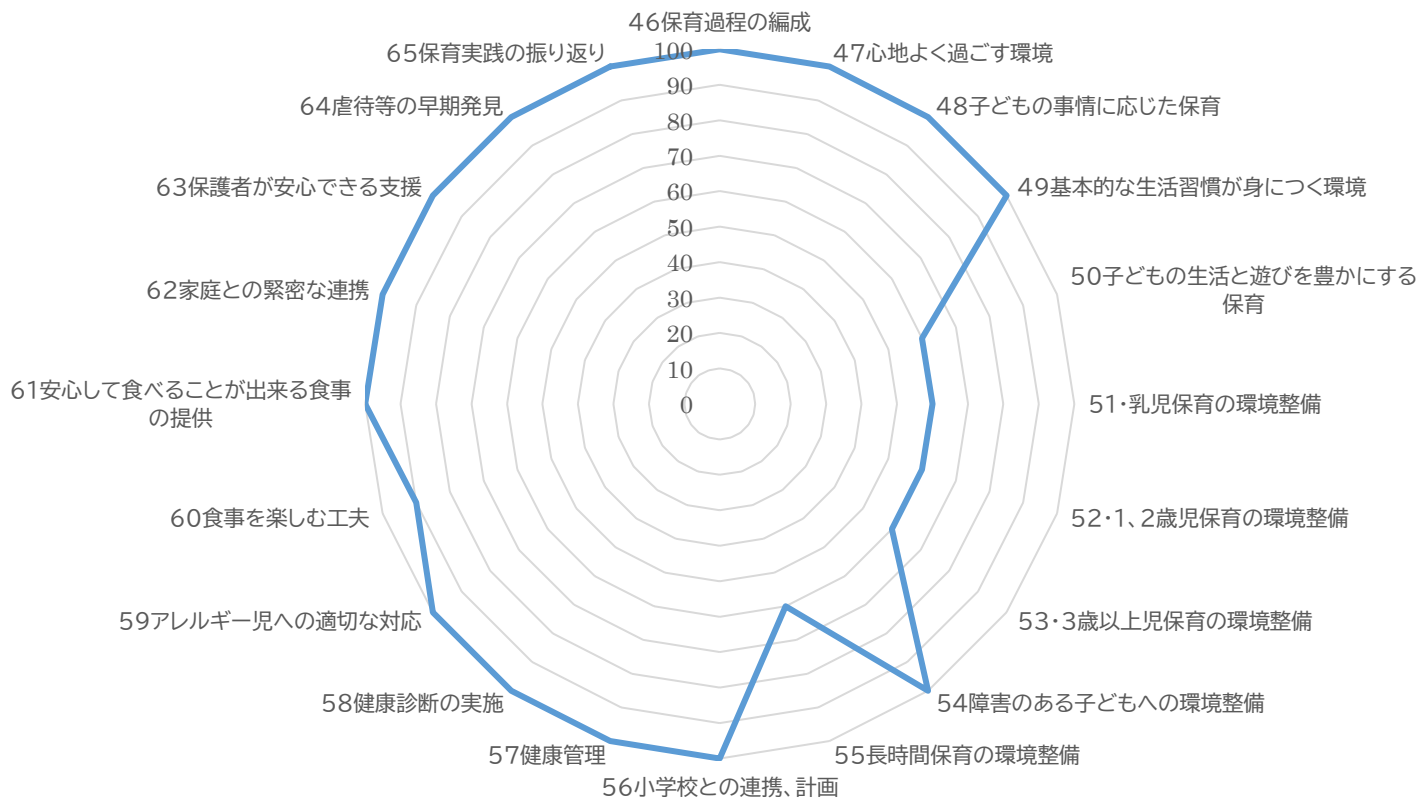
★分析後取り組みが必要な項目

30.保育所選択について必要な情報提供

コメント

<見学等の希望にはすべて対応し、利用希望者についても個別に説明を実施している。しかし、園を紹介する資料は1号認定園児募集ポスターのみとなっているため、今後検討していく。>

IV 保育内容



○高評価内容

57.58.59. 健康管理について

マニュアルに基づき一人一人の子どもの健康状態を職員全体で周知・共有できている。特にアレルギー疾患のある子どもや慢性疾患等のある子どもについても担当医からの指示を受け適切な対応を行うことができている。

54.障害のある子どもへの環境整備

保護者との連携を密にし、園での生活に配慮している。専門機関との連携が密にできている。引き続き必要な環境整備に努めていく。

★分析後取り組みが必要な項目

51.52.53.保育の環境整備について

コメント

<学校薬剤師が定期的に検査をし室内の温度、湿度、換気、採光等常に適切な状態を維持できている一方、くつろげる空間の確保や異年齢児が関われる環境づくりを絶えず、よりよい環境を求めている。>